

2026.06.04

サステナブル建築事例集ホームページの更新公開について
～ 累積 876 事例 (25 年度 51 事例)。木造木質化 12 件・超高層 7 件・スポーツ施設 4 件など幅広い用途・技術の事例が公開～

(一社)日本建設業連合会(以下、日建連)は、2009 年度より、会員各社の設計施工によるサステナブル建築の事例集をとりまとめ、ホームページ内のサステナブル建築に関するコーナーで公開しています。このサステナブル建築事例集は今年で 17 年目を迎え、事例が 876 (825) (括弧内前年度) 件を超えるまで充実してきました。このコーナーではサステナブル建築事例集のほか、サステナブル建築特別委員会報告書、サステナブル建築を実現するための設計指針、CASBEE 対応状況および省エネルギー計画書に関する調査報告書も公開しています。2025 年度の事例の一般公開は 4 月上旬の予定です。

1. 経緯

日建連は、旧 BCS ((社) 建築業協会) 時代の 1990 年より「建築業と地球環境」を重要な課題として位置づけ、各種の活動を行ってまいりました。2016 年には「環境自主行動計画」第 6 版を日建連として作成し、環境への取り組みの一層の強化を図るべく、業界目標を定め、その実施状況をフォローアップしております。また、日建連は 2012 年に日建連建築宣言「未来に引き継ぐ確かなものを」を公表しました。その中の 3 つの基本方針のひとつである「低炭素・循環型社会の構築に貢献します」では、建築のゼロエネルギー化を目指して「既存建築物を含めたライフサイクルエネルギーの低減」「計画段階からの耐久性と更新性を考慮した長寿命化」に取り組むことを謳っています。

この施策の一環として、会員各社の設計施工案件(新築、改修、保存等)のうち特にサステナブル建築に取組んだものを 2009 年度より事例集としてまとめ、日建連ホームページで公開してきました。今年度も日建連の建築設計委員会環境設計専門部会がその取りまとめを行い、2025 年度版として 51 (55) 件を追加し 876(825)件となりました。

今年度は建物用途では事務所が 16(24)件と最も多く、次いで工場・物流施設の 11(10)件、集合住宅 6(8)件と続き、12 分類に渡る広範な事例が集まりました。(複合用途含む。) サステナブル建築としての選定の観点(カテゴリー*)としては、環境配慮技術 45(43)件、省エネ・省 CO2 技術 44(45)件、周辺・地域への配慮 40(36)件、建物基本性能確保 34(32)件といった点が多くなっています。特に今年度は木造・木質系の作品が 12 件あり全体の 24%を占めています。案件の CASBEE 評価としては、S ランク 13(18)件、A ランク 27(21)件、B⁺ランク 3(5)件となっています。

また近年の建築分野での脱炭素への取り組みを反映して、ZEB/ZEH に関しては記載されているだけでも 31(40)件が認証取得でした。昨年度より認証数が減少していますが、作品数の 50%以上が ZEB 認証を取得しています。今年度は、保存、木造化、観覧場、スタジアムなどの作品が多く、一次消費エネルギー量の削減だけでは評価しづらいサステナブル事例であったのも影響していると考えます。

その内訳は ZEB 6(8)件、Nearl y ZEB 2(0)件、ZEB Ready15(21)件、ZEB Ori ented 3(3)件、ZEH-M 0(1)件 ZEH-M Ready 0(1)件、ZEH-M Ori ented 5(6)件となっています。

2. サステナブル建築事例集について

- 事例件数は累計 876(825)件、今年度は会員 16(17)社から 55(56)件の提供を新しく受けました。
- 設計施工の事例をまとめ、最新の事例を多く紹介しています(施工中案件も含む)。
- 事例シートには、
名称、建築概要、カテゴリー*、案件の説明、図面、写真、サステナブル建築としての特徴の説明
主要な採用技術**、CASBEE 評価結果、設計担当者名などが記載されており、案件ごとに A3 版 1 枚の事例シートにまとめています。
- 検索は建物名称、所在地、プロジェクト種別、建物用途、カテゴリー、竣工年、会社名、主要な採用技術より選択可能でしたが、2016 年度の事例公開からは、任意のキーワード検索の機能を追加し

ユーザーがより利用しやすいシステムに改良しております。

○今年度の本事例集では下記のような取組みを有する事例が多く紹介されており、事業企画、設計、施工、研究開発、建物の運用・管理などに広く、深く関わっている当会会員各社の特色が打ち出されたものとなっています。これらのポイントは図・写真を交えてわかりやすく説明されており、大いに参考として頂けるものと考えております。

□公的な認証等の取得（ZEB 認証事例の増加）

- ・今年度 51(55)件中 ZEB/ZEH 認証取得は 31(40)件、そのうち物流施設は 8(8)件取得、住宅 ZEH-M は 6(8)件中 5(7)件で取得
- ・森の中にある保養所 「SITES」のプラチナ 「TSUNAG」トリプルスター認証 施設の事例

□木造木質化

- ・環境配慮型 中間免震 木造ハイブリッド寮
- ・40m×17m の木質無柱基準階の 12 階中高層木造ハイブリッド事務所
- ・耐火集成材斜め柱+テンションロッドの外殻構造で、耐震要素のある木造架構を実現した事務所
- ・3000 m²木造交流空間で、鉄骨造教室を連結する大学 CASBEE S ランク

□高い環境性能

- ・ZEB Ready LEED Gold CASBEE S ランクの 28 階複合用途本社屋
- ・都市と水辺をつなぐ超高層複合 CASBEE S ランク
- ・日本最北寒冷地の 25F 超高層集合住宅 ZEH-M Oriented
- ・環境と人にやさしく工場らしくない工場 CASBEE S ランク

□スポーツ施設・ショッピングセンターのサステナブル建築

- ・街 なかエコスタジアム スタジアム初の ZEB Ready
- ・270 度海に囲まれた次世代アリーナ ZEB Ready
- ・街に開かれた複合スタジアム（アリーナ+オフィス）CASBEE A ランク
- ・人工海水池のあるショッピングセンター、ZEB Oriented

□歴史の継承・既存ストックの利活用

- ・循環と再生のまちづくり、酒造、伝建、木造をホテル飲食温浴施設
- ・増築と全体の再構築、端正なファサードを守るオフィス
- ・ホールライフカーボンで新築と比較し CO2 69%削減した、改修オフィスの事例

□設備・エネルギー関連

- ・敷地内雨水還元で井水利用量を賄うネットゼロウオターの学校 ZEB Ready/CASBEE S ランク
- ・急性期病院の ZEB Oriented、病院特有の給湯予測プログラムの開発導入
- ・公園一体型店舗 ZEB Nealy 地中熱利用、コミッションング

* カテゴリーとは、サステナブル建築への取り組み方に関する分類である。

「環境配慮デザイン」「省エネ・省CO2 技術」「各種制度活用」「評価技術・フィードバック」「リニューアル」「長寿命化」「建物基本性能確保」「生産・施工との連携」「周辺・地域への配慮」「生物多様性」「その他」の 11 項目。

** 主要な採用技術とは、CASBEE の中項目にあわせた分類である。

「Q2.2 耐用性・信頼性」「Q2.3 対応性・更新性」「Q3.1 生物環境の保全と創出」「Q3.2 まちなみ・景観への配慮」「Q3.3 地域性・アメニティへの配慮」「LR1.1 建物外皮の熱負荷抑制」「LR1.2 自然エネルギー利用」「LR1.3 設備システムの高効率化」「LR1.4 効率的運用」「LR2.1 水資源保護」「LR2.2 非再生資源の使用量削減」「LR2.3 汚染物質含有材料の使用回避」「LR3.1 地球温暖化への配慮」「LR3.2 地域環境への配慮」「LR3.3 周辺環境への配慮」「Z その他」の 16 項目。

以上

本件に関する問い合わせ先

(一社)日本建設業連合会 (担当: 正田)
電話 080-6645-8511 (建築・安全環境グループ)
東京都中央区八丁堀 2-8-5 東京建設会館